

1974 (毎月1回行)

12月号

(村の面積)

332,60 km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和49年11月1日現在)

村の人口

総人口 2,129人

男 1,112人
女 1,017人

出生 2人
死亡 2人
転入 12人
転出 9人

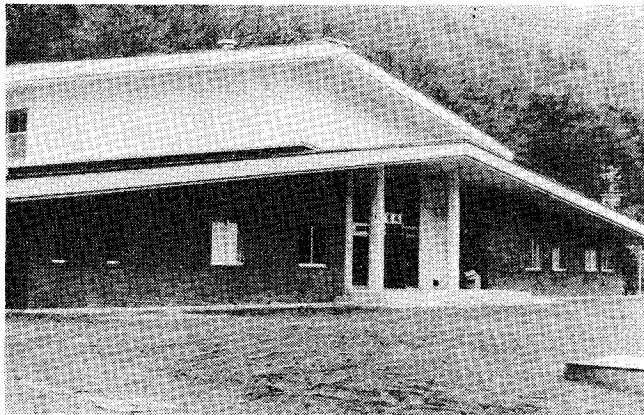
世帯数 590世帯

村民体育館が完成

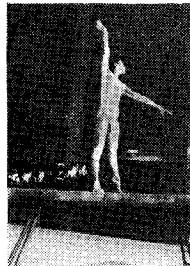
総工費一億三千万円を投入

本年度事業として建設が進められていた大納地区村民体育館は、立派に完成し、その落成式が中電保育所の落成と併わせ、去る十二月一日福田自治大臣(代理)を始め、福井県知事、県議会議員など村内外から関係者多数参加のもとに盛大に開かれました。

式は、午前十時から行なわれ、村長の式辞、工事工程報告があったあと、この工事完成に努力された方々へ感謝状と記念品の贈呈、来賓祝辞があり式を終りました。また、これに引き続き記念祝賀会が中電会館において行なわれた。この体育館は、本年七月総工費一億三千五百拾壹万円で着工され、鉄筋コンクリート建、延面積一五六四平方メートルで、講堂のほか、事務室、ステージ、和室、放送室、器具室、準備室など近代的な設備が整っています。



人気あった エキジビション



落成式終了後において、仁愛女子高校生による小鼓隊を始め、熊谷組対三井生命によるバスケットボール、武生高校定時制女子体操部による演技など、エキジビション(模範競技、試合)が行なわれ会場に集った三百人の観衆からおしみなない拍手が送られました。

落成式の一幕



第四十四回臨時議会

議案四件、報告二件を可決

一般会計八百八十万円を追加

和泉村議会第四十四回臨時会は十一月二十二日招集され、報告二件、議案四件が原案どおり可決されました。提出議案、報告は次のとおりです。

◎債務負担行為について
事項 現年発生補助林道災害
復旧事業

期間 昭和四十九年度から昭和五十年年度まで

限度額 三百三拾二万一千円

◎村営九頭竜スキー場ロッジ新築工事の請負契約締結について

(1) 契約の目的 村営九頭竜スキー場ロッジ新築工事

(2) 契約の方法 指名競争入札

(3) 契約金額 志千参百五拾七万円

(4) 契約の相手 株式会社 穴馬組

◎昭和四十九年度和泉村一般会計補正予算(議案第五十三号)

今回の補正額は、八百八拾三万三千円が追加されましたが、その主なものは、教育費において、体育館工事増額の四百八拾万円を始め、体育館備品二百五拾四万円、中電グラウンド移転工事補助二百万円など、一千一百三拾四万五千円、農業費で二拾四万五千円が増額されたのに対し、予備費において二百七拾五万七千円が減額されています。

◎中電保育所改築工事請負契約の変更について(議案第五十四号)

契約金額が八拾九千円増額されました。

◎大納地区村民体育館新築工事請負契約の変更について(議案第五十五号)

契約金額が壹千五百拾壹万円増額されました。

◎林道荒島線開設工事請負契約の変更について(議案第五十六号)

契約金額が五百八拾壹万八千円増額されました。

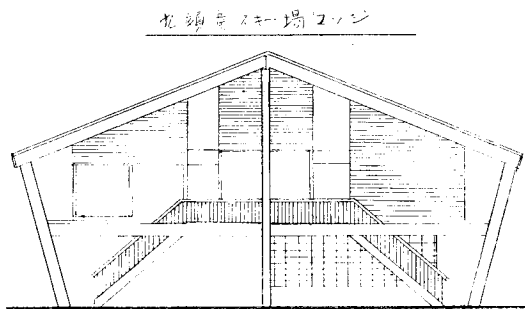
村営九頭電スキー場

第三リフトオープン

ロッヂ建築工事進む

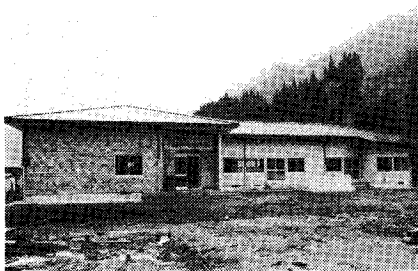
三年目を迎へた村営九頭電スキー場は、当初計画に基づいて着々と施設の充実を計ってきましたがようやくスキー場としての形態を整えてきました。

なお、本年度事業として計画されていた第三リフト(全長三七八米)も、九月より総工費四千一百万円で工事が進められていますが、このほど完成し、運転開始の運びとなりました。また、約百人を収容できるロッヂ(鉄筋コンクリート造り)も、十一月より一千



四百万円を投じて工事が進められていましたが、十二月二十五日ごろには完成します。一人でも多くのスキー愛好のみなさんが訪ずれて下さるのを期待しています。

完成した中電保育所

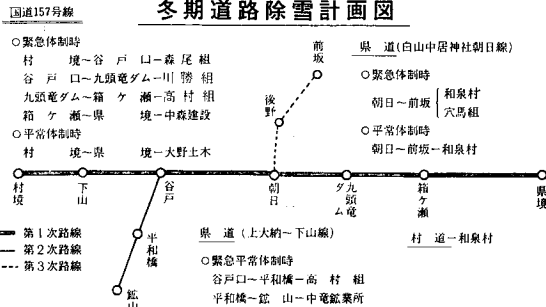


立派に完成した

中電保育所

建物の老朽化が著しいため、中電鉱山(竜岳寮)の隣りに、改築が進められていた中電保育所は、このほど完成し、去る十二月一日体育館と同時に落成式が行なわれました。

冬期道路除雪計画図



除雪計画まとまる

!!常時交通確保を!!

本格的な降雪期を迎えるにあたり、このほど、大野土木事務所と本村において、除雪計画が次のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

その内容は、積雪量が十五センチ二十センチになるとただちに除雪作業に入り、主要幹線の道路交通を確保することになっております。その除雪主要道路の順位は別表のとおりですが、村道についても強力に進める計画です。



源泉還付申告書は一月中に納税証明は二月中旬までに大野税務署では、二月、三月は申告所得税の確定申告時期で混雑するため、源泉還付申告書の提出は一月中に、納税証明の請求は二月中旬までにするよう望んでいます。

除雪についてのお願い

除雪作業の能率的かつ効果的に進めるため、沿線のみなさんには次の事項を充分認識していただきご協力をお願い致します。

- 一、道路わき、待避所等における障害物を取り除くこと。また、消火栓や水道栓等には完全な標識を設けること。
二、道路に近い家屋では庭木等が破損しないよう囲いをする。
三、屋根の雪降しは除雪前に行ない、除雪作業中に軒下等の雪を勝手に出さないで責任者の指示に従うこと。
四、道路そのの用水路が除雪作業のため、一時洪水した場合にはお互いに協力して防ぐこと。
五、道路附近の空地へ一時雪を押し出す場合もありますからご協力下さい。なお、除雪作業中において、物件等の破損等もあると思われませんが、これらについての補償は致しませんので、ご承知下さい。

厚生大臣から委嘱される

新しい民生委員十二名

社会経済環境の急激な変化の中で、民間篤志として、また社会福祉行政に対する協力機関として活躍される民生委員が任期満了となり、このほど新しい民生委員が厚生大臣より委嘱されました。

なお委嘱された人は、次の十二名の方々です。下段は担当地区

- 加藤 艶子 角野、朝日両前坂
栗守 芳子 後野、伊月
中村 主男 貝皿
平野 ちよ 川合
三島 藤子 朝日、箱ヶ瀬
朝日 秋子 朝日、箱ヶ瀬
山田まつゑ 角野、板倉
林 昭明 下山
松田 忠直 下大納、上大納
登 久男 上大納
名村 義三 上大納(中電)
諏訪 清子 上大納(中電)

吹屋与一氏ら表彰を受ける

★和泉村表彰★

去る十月十三日に行なわれた第十八回和泉村民体育大会時において、和泉村表彰規則に基づき、次の方々が表彰を受けられました。

- ◎表彰者 吹屋与一 森尾 正
吉川 基 松田 守 中村主男
和泉村職員表彰要綱による表彰が十月十一日行なわれました。
◎表彰者 尾花継男(十五年表彰)

いずみ駅伝開催される

優勝 一般の部 陸友会Bチーム 中学の部 大納中Aチーム

第四回いずみ駅伝競争大会は、十一月十七日午前九時から一般の部八チーム、中学校の部三チームが参加し、あいにくの雨にみまわられての悪コンディションの中で、盛大に開かれました。

本大会は、下山谷山橋、善地谷橋（折り返し点）、役場前までの二、八キロ米を五区間（一チーム五選手）によって、その技を競



いずみ駅伝競争

総合成績

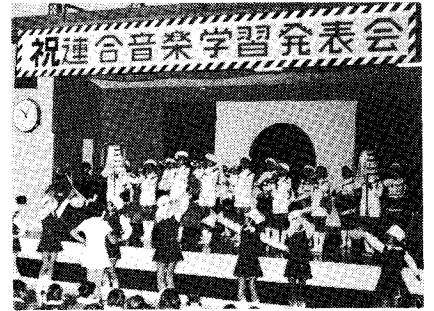
順位	チーム名	時間
1位	陸友会B	50分03秒
2位	電発長野	50分55秒
3位	雪友会	51分53秒

順位	チーム名	時間
1位	大納中A	47分19秒
2位	朝日中	49分28秒
3位	大納中B	51分50秒

個人別区間賞

区間	1区間	2区間	3区間	4区間	5区間	
距離	2.5km	2.6km	2.5km	2.5km	2.7km	
一般の部	氏名	鋤田伸行	古川 渉	斎藤国忠	洞口一夫	塚本慎一
	所属	電発長野	陸友会B	中竜B	雪友会	中竜A
	タイム	9分40秒	9分36秒	9分58秒	10分10秒	9分25秒
中学校の部	氏名	佐藤裕之	小森 満	塚本 誠	林 義之	川中浩司
	所属	朝日中	大納中A	大納中A	大納中A	大納中A
	タイム	9分10秒	9分57秒	9分30秒	8分45秒	9分38秒

い合ったもので、第一区間走者が午前十時、谷山橋をいっせいにスタート、がんばれ、がんばれと盛んな応援のうちに、ぬきつ、ぬかれつの好レースが展開されました。その結果、一般では陸友会Bチームが、中学校では大納中Aチームが、日ごろの練習成果を発揮し優勝しました。



第一回 連合音楽学習発表会

大納小学校で開催さる

「管内の児童、生徒を一堂に集め思いっきり歌わせたい。」「小規模校少人数では経験できない合唱や合奏を、合同でやらせたい。」音楽の楽しさ、おもしろさを味わせたい。」

こんな願いから、去る十一月一日、大納小学校講堂に、和泉村の幼、小、中学生約四百余名が参加して、第一回の連合音楽学習発表会が開催されました。

当日は肌寒い日でしたが、どの子も生き生きと、寒さを感じさせない張切りようでした。

九時半、山森研究会長、加藤教育長のあいさつと、山本村長、吉川議長から、それぞれ、お祝いのことをいただき、早速、第一部「ひびけ歌声」で大納小四年生の

皆さんによる「とんび」で幕を開けました。

可愛い大納幼稚園児による歌と合奏、中学年の輪唱、高学年、中学生の合唱や独奏に、大きな拍手が送られました。

第二部は「楽しい集い」で、朝日小、大納小の合同演奏、大納小中の音楽クラブの発表、先生方のコーラス、全員による森の熊さんドレミの歌の大合唱など、バラエティーに富んだ演奏の数々が発表され、心の底から歌いこすているようすがみられました。

第三部は、みんなの合奏で、いろいろな楽器を使って、表情豊かに演奏している姿が特に印象的でした。

尚、郷土芸術保存の立場から、朝日小の皆さんにお願いして、昇竜太鼓を披露してもらいました。

ダイナミックな演奏で、きく人の心に大きな感動を与えました。会場には、幼、小、中の皆さんの習字、図画の作品および、世界の児童画も展示され、文化の日にふさわしい行事となりました。

年末年始における交通安全県民運動

十二月一日～一月十日

年末年始は、交通の混雑に加え飲酒の機会も多くなり、また降雪等の悪天候も影響して、例年交通事故が激増しているのに、この時期をとらえて飲酒運転等の無謀運転の危険性を強調するとともに地域住民に対して交通安全思想の周知徹底を図り、交通事故を防止しようとして、十二月十一日から一月十日までの一月間、年末年始の交通安全県民運動が実施されます。

◎運動の重点

- (1) 飲酒運転等の無謀運転の絶滅
- (2) 歩行者と自転車の事故防止

さあ どうぞ

ゆっくりススムが

身を守る

飲んだら 乗らない

乗るなら 飲まない

飲ませない



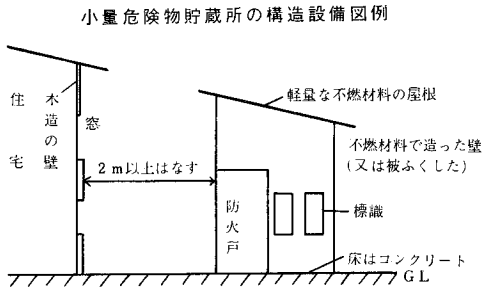
灯油の貯蔵取扱いについて

安全な貯蔵取扱い方

暖房用白灯油が必要な季節となりましたが、一般家庭における灯油類の貯蔵取扱いについては、消防法及び大野地区消防組合火災予防条例で次のように規制されています。

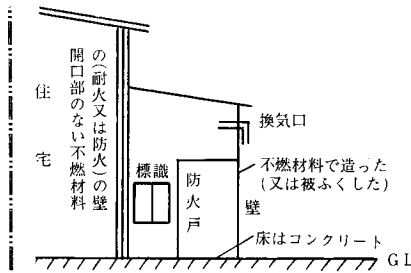
- 一、灯油を建物内に貯蔵する量が一〇〇ℓ以上一五〇〇ℓ未満の場合は、火災予防条例により届け出て、内装を不燃材料で囲った置場の設置が必要です。
- 二、五〇〇ℓ以上の場合には消防法の規制を受け、危険物取扱者の免許がなければ、貯蔵あるいは取扱いができません。

したがって、ドラム缶(二〇〇ℓ)で購入し、家の軒下や物置な



どに無届で貯蔵することは違反となり、処罰を受けることがありますので、十八ℓ缶を五本までにするか、置場を設けて貯蔵するなどの処置をして下さるようお願い致します。

なお、置場を設ける場合の届出書は、和泉分遣所(役場内)にあります。

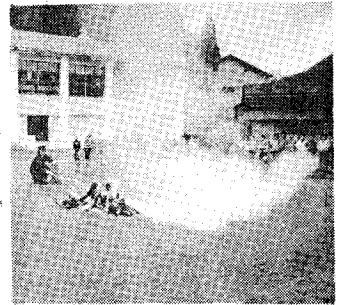


「消火器の設置場所」

※すぐにもわかる
よく見るとわかる

消火器の設置場所は、誰にでもすぐ目につくところで、すぐ取れる場所、しかも火を使う場所の近くにおきましょう。

また、万一使ったら、再び使える状態にして、もとの位置に早く戻しておくこと。



万一の火災に備え 避難訓練を実施

朝日小・幼稚園児

冬の到来とともに、暖房器具等火を使用する機会も多くなり、ちよつとした不注意や不始末から悲惨な火災事故が発生します。

こうした時期をむかえ朝日小、幼稚園では、去る十二月四日、万一に備えての避難訓練や消火器の使い方などについて、桜川消防団長や和泉分遣所職員から指導を受けました。

訓練は、午前十一時二十分ごろ幼稚園隣の教員住宅より火災発生との想定で行なわれ、幼児、児童らは、校内放送で教頭先生の指示により、一っせいに校庭へ避難しました。このあと、先生や消防関係者から避難するときの注意などを聞き、また、校庭でたきびをし消火器で火を消すなど、消火器の正しい使い方をみんなで勉強しました。

農業センサスに協力を

二月一日全国いっせいに調査

来る二月一日現在で、一九七五年農業センサスが実施されます。日本の農業は稲作をはじめ、果樹、野菜、畜産等それぞれ、いろいろな悩みをもっています。こうした問題に対処して対策をたてるため、農業の現状をはっきり知るためのものです。

一九七五年農業センサスでは、このような農業の姿を正確にとらえるため、みなさんのご協力をお願いいたします。

おとうさん

村を見直すセンサスよ!!
豊かな農業おと押すセンサス!!

工業統計についてお願い

12月31日全国いっせいに調査

通商産業大臣官房調査統計部では、十二月三十一日を期し全国いっせいに工業統計調査を行ないます。この調査は国勢調査とならぶ国の基本的な統計調査で「製造業」に属するすべての民営事業所を対象として、毎年十二月三十一日現在で、事業所数、従業者数、製造出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業や製造業活動の状況を治らかにすることを目的としています。工業統計の結果は、工業関係のさまざまな計画や施策の基本的資料として利用されています。

たとえば地方自治体や国が都市計画を作る場合、又総合開発や、地域開発計画を作る場合など、国民生活の広い分野で活用され「すみよい日本」を築くために役立っています。この調査の対象となる事業所の方は、お忙しいところ恐縮ですが、この調査の重要性をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

人のうごき

【赤ちゃん誕生】

後野 米倉宇治 功 長男
上大納 田辺清美 澄雄 長女

【死亡】

上大納 森下そで 八二才
下大納 山内守人 七〇才

【婚姻】

朝日 大飯町 〔宮原 孝弥 夫〕
上大納 上大納 〔杉左近 孝夫 夫〕
上大納 上大納 〔相川 見佐夫 夫〕
上大納 上大納 〔宮前川 ツルコ 妻〕

あとがき

十二月を迎えるとだれしも、ああ!!もう一年が終わるのか、と月日のたつ早さをしみじみと感じるものです。

また、日まじに寒さも厳しくなりますので、体を大切に健康で新しい年を迎えましょう。

